

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月14日(水)～2月29日(木)
書面による意見交換を実施
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会長	小林 甲一	名古屋学院大学教授
副会長	村松 敦子	多治見市養正公民館館長
委員	加藤 京美	本校育友会 副会長
	加藤 賀裕	多治見青年会議所理事長
	小口 英二	一般社団法人多治見市観光協会(たじみDMO)COO(最高執行責任者)
	曾我 直佳	「やくならマグカップも」制作ディレクター
	田邊 誉	JR東海多治見駅首席助役
	三宅かおり	多治見市役所企画部防災課兼移住定住推進室課長代理
学校側	増田 智至	校長
	堀 裕邦	教頭
	小栗 啓茂	事務長
	清水 香織	教務主任
	桑原 華栄	進路指導部長
	星野 益也	生徒指導部長
	鈴木 貴博	特別活動部長
	加藤 元規	保健厚生部長

5 会議の概要(学校評価から見る本校への意見及び提案)

(1) 全体的に見て

意見1: スクールポリシーと「学校経営の方針と指導の重点」の設定及び学校経営計画の進捗管理は概ね適切だと思います。ただし、何度か使われている「文武両立」という表現は適切であると思えません。文武の「武」にそのような広い意味を持たせることはできるのでしょうか。

(2) 教務部

意見1：教務部の課題に係る「情報発信」の内容、あるいはSNSやHPでどのような情報を発信するのかがわかりにくいです。

意見2：アンケートで保護者の「わからない」という回答が多かったとありますが、役員の中でも他の保護者より学校に出向く機会が多かったが、分らないことが多くあったとの感想が聞かれました。

(3) 進路指導部・地域課題探究型学習

意見1：進路指導部と地域課題や探究型学習を直接的に結びつけすぎるのには違和感を感じます。探究型学習は教務全般に広げていくべきではないでしょうか。

意見2：文化祭を早めたことによって、夏休みから受験モードに切り替えられ、集中できる環境を作り、良かったと思います。

(4) 生徒指導部

意見1：生徒の相談にできる限り複数名で対応していくのは良いことだと思います。

意見2：1つ苦言ですが、朝の通勤の際に駐車場から多治見駅まで歩いて行くのですが、多治見高等学校の生徒とよくすれ違いますが、その中でスマホを見ながら歩いてきてぶつかりそうになったり、傘を差しながら複数名で広がって歩いて通行人の妨げになっていることがあります。何かの機会に注意をされた方がよいと感じています。

意見3：学校側としては取り組んで見えることは分かりますが、いじめと感じている生徒がなくなることは残念です。

意見4：人権学習（差別、性の多様性、性的マイノリティ等）を実施してはいかがでしょうか。

(5) 特別活動部

意見1：文化祭やスポーツ交流大会、球技大会に役員として参加し、子ども達の楽しんでいる姿が見られよかったです。

意見2：文化祭については、昨年度より時期が早まり大変でしたが、特に3年生の生徒にとっては最後の文化祭を楽しんで欲しいとの思いから、保護者にも力が入ってしまいました。

意見3：部活動に関して、生徒数の減少で部活数も減り残念だと思います。

意見4：部活動未加入者の生徒に対して、加入しない理由のヒアリングを行ってみてはどうでしょうか。部活動と1日3時間の家庭学習の両立が厳しい生徒がいるかも知れません。

(6) 保健厚生部

意見1：コロナが5類になったとはいえ、いろいろな感染症に対応し、体調だけでなく心の方も大切にしていきたいと思います。

意見2：いつ起きるか分からない地震や水害等の災害のための訓練の必要性を感じます。

意見3：学校生活だけでなく、将来、社会で生きていく上で防災意識や救急救命（AED講習）、不審者対応（護身術等）の訓練を継続して実施いただければと思います。

6 会議のまとめ

今年度については、3月15日（金）に外部施設を利用しての探究学習の発表会を計画し、委員の皆様にも出席いただくため、最後となる第3回学校運営協議会自体は書面による意見交換での開催とした。昨年度までは会議に併せた通常授業の見学のみであったが、今年度は学校行事を見学いただく機会を設けることができた。

各分掌から生徒・保護者アンケート等の結果分析と反省と次年度に向けての取組概要をまとめ、書面で報告し、各委員からそれに係る貴重な意見をうかがった。様々なご意見から本校の学校運営に係る示唆を得ることができ、指摘された点は、教育活動の改善と底上げにつなげ、今後の学校運営や活動をさらに充実したものとしていきたい。